

としまち研会報 第111号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

単身高齢者が元気に生きるための賃貸型コーポラティブハウス



古い住宅地において、庭の手入れがされずに雑草が生い茂り、建物の手入れもされていないような住宅を見かけます。住人が高齢化して高齢者施設に転居あるいは亡くなってしまって引き継ぐ親族がないなどの事情があるものと思われま

す。私の会社員時代の女性の先輩ですが、単身で生活しており、5年ほど前に、体調が悪化したとのことで電話で呼び出されました。すぐ病院へ行き、そのまま入院。退院後は、朝晩ヘルパーさんに来てもらう、家政婦さんをお願いするなどの生活になりました。その方には、万一のことがあった場合、葬儀や埋葬、財産の処分・清算などの「死後事務」をお願いする親族がない、とのこと

です。そんな高齢者が確実に増えてきていると考えていたところに、知人から「高齢の母が亡くなった時に備えて、相続対策として自宅+賃貸住宅をつくりたい。」と相談をいただきました。この相談については、高齢者施設ではなく、プライバシーの保てる住戸、入居者の交流の場となり、地域にも開放する一定規模のカフェスペースを設けるなど…、地権者家族と話し合いをしながらイメージを膨らませており、もうすぐ企画が完成しそうです。

目的の相続対策としては、入居希望の単身高齢者の方に相当額を入居保証金として差し入れてもらうことで、知人のお母さんにとっては借入金同様の扱いができます。不足分は金融機関から借入をします。また、入居する単身高齢者は、手入れのできなくなった自宅を若い世代に買ってもらう、あるいは賃借してもらうことで、街も元気になりますし、経済的にもこれからの暮らしの糧となります。

具体化できましたら、としまち研会員の皆さまにも、賃貸型コーポラティブハウスへ入居希望の単身高齢者をご紹介くださるようお願いいたします。 (としまち研理事長 杉山 昇)

おいらのひとりごと【設立20周年記念・事務局リレー版】

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

く一人一人が主役になれる場所を目指して。～愛知県岡崎市よりこんにちは～ 岩ヶ谷 充

ご無沙汰しております。2013年～の約4年間、事務局でお世話になりました岩ヶ谷です。

いまは愛知県岡崎市というまちに引っ越し、家族（一昨年に入籍しました！）とともに楽しい日々を過ごしております。転居後は距離が離れてしまったこともあり、としまち研の活動に関わっておりませんが、「おいらのまち」やテレビや建築系メディア等でとしまち研の皆さんの活躍の様子を発見しては喜んでいました！

岡崎では、市民参加のまちづくりを進めるNPOに所属し、市内の中心市街地を舞台に行われている「おとがわプロジェクト」に参加、公共空間の活用（僕は乙川という河川活用を担当）と場の再編という壮大なテーマのもと、行政やまちの人達と一緒にやりながら、楽しみ・喜び・悩み・悲しみというようなハチャメチャで楽しい毎日を過ごしております。

「一人一人が主役になれる場所をつくりたい」 そんな言葉にするとちょっと稚拙な目標をかかげ、今日もプロジェクトを進めています。場所も仕事もガラッと変わりましたが、そういう根っこのところの想いは、としまち研にいたころとそこまで変わりはないのかもしれませんが。大河ドラマ「どうする家康」の放送が決まり、ますます盛り上がる!?岡崎市。近くにお立ち寄りの際はぜひお声がけください！

そして、としまち研のさらなる飛躍を遠くからいつも応援しています。

※次号の『ひとりごと』は阿部久美子さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第306回一木会（2021.5.13）

マンションコミュニティ研究会代表などを務めておられる廣田信子さんに「コロナ禍の経験を未来の管理組合運営に活かす」というテーマで、コロナ禍におけるマンション管理組合の運営状況やコミュニティについて、昨秋、同研究会で実施されたアンケート調査から見てきた実態や課題をお話いただきました。また、コロナ禍の経験をプラスに活かす5つの提言について解説していただきました。



☆第307回一木会（2021.6.3）

持続可能な宇宙開発を実現するために必要な技術に関わるお仕事をしている藤本浩平さんに「持続可能な宇宙開発と街づくり」というテーマで、あまり聞けない宇宙関連のお話と私たちの生活という珍しいお話をしていただきました。技術、ビジネス、ルールという3つの視点で、宇宙開発は、遠いところのことではなく、人類の暮らしに直結しているということがわかってきました。



今後の一木会予定（会場＋オンライン）

☆7月（7月1日）【第308回一木会】 ※終了しました。報告は次号に掲載します。

テーマ：「地域の食支援を目指して～認定栄養ケア・ステーションにできること」

ゲスト：小林 千晴 さん（(株)ケア・メイト 食支援・配食チーム、

認定栄養ケア・ステーションけめとも 栄養管理士・副主任ケアスタッフ）

☆8月（8月5日）【第309回一木会】

テーマ：「建物長寿命化を実現するための根源と現状の問題」

ゲスト：立岡 陽 さん（一般社団法人大規模修繕工事・優良職人支援機構（RAS）代表理事）

マンション再生連続勉強会を開催します！（どなたでも参加可能です）

今年度、マンション再生部会主催で2つのテーマで連続勉強会を開催することになりました。

第一弾は『簡易ソフトを使って長期修繕計画を作ってみよう！』です。全5回、以下の日程で、オンライン（zoom）併用で開催します。会員以外の方も大歓迎です。ぜひご参加ください。

- ・第1回：7/29(木) マンションにおける長期修繕計画の役割と重要性、活用方法
- ・第2回：8/26(木) 建物の現状を知るための建物診断調査の取り組み方
- ・第3回：9/ 9(木) 修繕項目について理解する（建築編）
- ・第4回：9/30(木) 修繕項目について理解する（設備編）
- ・第5回：10/14(木) 簡易ソフトをつかって長期修繕計画を作ってみよう

時間は、いずれの回も18:30～20:00頃（終了予定）です。参加費は無料、ご都合の良い回のみでも可能です。参加をご希望の方は、としまち研事務局までお申込みください。

□編集後記

会員Iさんよりいただいた中玉トマトの苗を、今年は事務所のバルコニーでも育てています。ミニサイズですが少しずつ実がなってきました。会員Hさんは、神田のご自宅の屋上（農園＋ピオトープも！）の様子を時々写真で送ってくださるのですが、もはや神田とは思えない…。こんな風景が神田中に広がったら面白いだろうなぁと妄想もすくすく育ち中です。（事務局 関）



〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL：03-5207-6277 FAX：03-5294-7326
E-mail：info@tmk-web.com ホムパージュ <https://www.tmk-web.com/>
Facebook： <https://www.facebook.com/toshimachiken/>
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員53名 賛助会員26名
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 関 真弓

